



在京古高同窓会会報
第61号

〒352-0031
新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局

☎・FAX (042) 494-1598
URL: <http://在京古高同窓会.com>
Email: skyoji@jcom.home.ne.jp

発行責任: 大友 文博
編集長: 亀井 明
印刷: (株) ケーヨー

6月30日に

お会いしましょう

会長 鹿野 軍勝



次官による記者に対する「セクハラ発言」を巡り、新聞・テレビは多くの時間を割いて報道し、国会の審議が空転したり、野党が欠席したりの状態が続いております。

「書き換え」と言い、「口裏合わせ」と言い、ましてや「セクハラ発言」と言うのは、何とも嘆かわしい出来事です。ただ、相手が自分の主張を認めるか、辞めるまで審議を拒否するというのはいささか大人気ないのではと思うのは私だけでしょうか。

皆様、その後如何お過ごしでしょうか。新年会の頃は寒くてインフルエンザが猛威を振るっていましたが、3月に入ると暖かい日が続いて桜の開花も早まりました。皆様も春の陽気を満喫している頃かと思えます。

さて、6月30日(土)には恒例の総会・懇親会が開催されます。皆様には奮ってご参加いただき、旧友・知人と楽しい一時を過ごしていただければと思っております。今回は同窓で東大名誉教授・名古屋大学客員教授の荒川忠一先生に洋上風力発電についてなど面白いお話を聞けることになっております。皆様も楽しみにして下さい。

今年の前半は、気候の方も少し異常をきたしていますが、国内の状況も異常を呈しています。財務省における決議書の「書き換え」の問題、森友学園への土地売却に絡む「口裏合わせ」、更には驚くべきことに事務

目を国外に転じると、もう直ぐ韓国・北朝鮮の南北首脳会談が開かれる、続いて米朝首脳会談が開かれるのではと言う状況に立っています。先を見通すことは甚だ困難ですが、我々日本人のこれからの大きな影響を及ぼすことだけは確かです。北朝鮮が核開発・ミサイル発射を当面中止することによって暫時「小康」が得られるのか、北朝鮮が初めから「見返り」を求めて米韓日を揺さぶりに出るのは、総会の開かれる頃には少し様子が分かるかも知れません。

ここで明るい話題に触れたいと思います。オリンピックにおける羽生選手、小平選手、あるいは高木姉妹の活躍に大喜びしたのは、私だけでは無かったのは確かです。そして表彰台に上るまでにそれぞれの選手が積み重ねた努力の足跡をたどると、さらに大きな感動を覚えました。テニスの錦織選手の力強い復活や、

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4月～翌3月、年会費は2,000円です。振り込み用紙が同封された方は会費納入をお願いします。
- ・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
- ・次回会報第62号は2019年1月1日発行予定、原稿は常時受付。

ご挨拶

古川高等学校長 金 和宏



在京古高同窓会の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この春、古高七十回生233名が、慣れ親しんだ学び舎をあとに、それぞれの道に巣立っていききました。3月1日の卒業式には、在京同窓会から鹿野会長と大友副会長に出席していただきました。鹿野会長からは卒業生2名に東京賞雪賞を授与していただき、激励の言葉を頂戴しました。

今年の卒業生は、昨年夏に開催された「みやぎ総文2017」と「東北インターハイ」で、県代表選手、あるいは大会補助員やボランティアとして、全国の高校生と交流し、素晴らしい活躍を見せてくれました。進路面でも、志望を落とさずに最後まで粘り強く挑戦し、国公立大学に66名の合格者を出すことができました。

本校は県から「進学拠点校等充実普及事業」の指定を受け、進路指導体制の充実と指導力の向上に取り組んでいます。その目標として、東京大・京大・東北大等並びに国公立大医学部の合格者数10名と、それを含めた国公立大学合格者数100名を掲げています。

昨年度の現役東大合格は快挙でしたが、東北大についても毎年4～5名の現役合格者を出しています。過去5年間の合格状況を見ると、東北地区の特定の大学に合格者が集中するのではなく、県内外の国立大学に一定数の合格者を出していることがわかります。

古高生の希望進路は圧倒的に東北が多いのですが、難関に挑むためには、基礎学力の充実は当然のこととして、大学の教育や研究内容をよく調べ、将来を見据えた目標を持つことが重要です。

在京同窓会の皆様には、後輩たちに、多方面から多様な学びの機会を提供くださいますようお願いいたします。

在京古高同窓会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健康をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

お知らせ

平成30年度 在京古高同窓会定時総会・懇親会

- 【日時】平成30年6月30日(土) 11:30～総会 13:00～15:00 懇親会
- 【会場】上野精養軒 (右図参照) 電話 (03-3821-2181) JR上野駅公園口から徒歩5分
- 【会費】8,000円
- 【講演】荒川 忠一氏 (東京大学名誉教授・京都大学特任教授・名古屋大学客員教授) 演題: 「風力発電の国内外の最新動向と日本の探るべき方向性」



【講演講師プロフィール】

【研究分野】
流体力学・数値流体力学
風力工学など

【略歴】

- 1970年(昭45) 古川高校卒業
- 1974年 東京大学工学部機械工学科卒業
- 1980年 東京大学工学博士取得
- 1996年 東京大学工学部 教授就任
- 2017年 東京大学退官後、東京大学名誉教授、名古屋大学客員教授、京都大学特任教授に就任



風力発電は世界で500GWを超える中で、日本はわずか3GWにとどまっている。日本における風力発電および再生可能エネルギーの方向性を解説する。

本部同窓会事務局だより
蛭雪 第61号に
寄せて

古川高校同窓会

会長 伊藤 貞嘉



新緑の美しい季節になりました。在京古高同窓会の皆様にはお元気で過ごしの事と存じます。日ごろから同窓会活動に多大のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

また、鹿野会長を中心として、活発な同窓会活動を展開していただき、心から感謝いたします。会員の交流、情報交換ならびに、情報発信はこれからの同窓会活動にきわめて重要なことです。今後、古高同窓生のネットワークの充実に促進していきたいと考えています。

今年の第二十五回古川市内四校新年会には沢山の方々に参加いただき、アンサンブル・コノハによる記念コンサート「心に咲く想い出のメロデー」を楽しみ、会員の皆様には楽しい時間を過ごされたことと存じます。私も大変楽しく、有意義な時間を過ごしました。企画に携われた在京古高同窓会の皆様に心から御礼申し上げます。

私も同窓会長になって、初めての同窓会入会式、卒業式、入学式を終えてほっとしています。同窓会入会式には、在京古高同窓会からもご説明いただき、生徒たちも

古高同窓生が全国で活躍していることを実感したはずですが、ありがとうございます。高校時代は心も体も大きく成長する時期です。これらの行事に出席し、自分の高校時代の姿と重ね合わせて感慨深いものがありました。

今年の入学式では「志学」にちなんで孔子と「論語」について話してみたい。孔子は無秩序で下克上の「戦国・春秋」時代に生き、非常に貧しい家に育ちながらも理想の社会を作る高い目標を心にどのようにつら平和な世の中にできるか、そして、平和な世の中を治める君主とはどうあるべきかを研究・学問したこと、孔子の思想の根底は「修己治人」という言葉に集約されること、「仁」を大切に

にしたこと等を話しました。国内の政治の乱れと質の低さ、北朝鮮問題、テロなどの国際情勢などを鑑みるにつけ、孔子の思想の重要性が再認識されます。現在社会は急速に変革していつています。第一に少子高齢化です。第二に人工知能やIoTにより、これまでとは考えられなかったことが次々と実現できるようになったことです。

これらにより、我々の生活様式も産業構造も大きく変化して来ています。このような変革の時代を担う・先導する人材は、知識や学力もさることながら、挑戦し続ける心の力、柔軟な考え方、他を思いやり、かつ巻き込む力、社会貢献の熱意等が一層重要となります。

新入生が古川高校の三年間で大きく成長することを期待するばかりです。同窓会としてもしっかり支援していきたいと思っております。

現在、同窓会活動を活発にして、母校の発展を支援しようと、本部の役員でいろいろ議論しております。特に、本部の事務局機能を充実させることが喫緊の課題です。

ホームページの充実とメール等の手段により、古高で行われている様々な取り組みを多くの同窓生に

伝える方法を確認したいと思っております。

我々は古高同窓生であることに誇りを持ち、同窓生の交わりが個人個人の社会を広げてくれます。そして、母校からこれまで以上に多くの有為な人材が輩出されることを望んでいます。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、在京古高同窓会の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。六月三十日にお会いすることを楽しみにしております。(昭47年卒)

近況報告

事務局長 遠藤 直樹



例年より桜前線が早く過ぎ去り、新緑がまぶしいこの頃、在京古高同窓会の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

今年度も240名の新入生を迎え、平成30年度がスタートしました。年度始めの恒例行事と言えは応援練習ですが、今年の新入生は女子生徒がほぼ5割を占めており例年よりも女子生徒の声が体育館に響く応援練習風景でした。また第59回紫藤定期戦(対築高戦)が4月26日に本校会場で行われま

げられました。今年も3連勝中の古高は残念ながら5勝6敗で苦杯を喫しました(通算40勝16敗3分)。

3連勝中とのこともあり、慢心があつたとは思いませんが、例年以上に築館高校が今回の定期戦にかける思いが各競技からひしひしと感じられ、その執念に屈する結果

となつてしまいました。高校総体も迫っており、今回の敗戦がいい反省材料となり、各部活がいい結果を出し、数多くの東北大会、インターハイに出場できるよう頑張りたいと思います。

さて、蛭雪60号にもご報告致しましたが、昨年11月2日に創立120周年記念行事を盛大に終了することができました。

多くの方からご寄付を頂戴し、同窓会の120周年記念事業として横断幕と記念手ぬぐいを作成致しましたが、それに加え、3年生の選択教室の1つにエアコンを設置することに致しました。夏涼しいとされる大崎の地も、ここ数年は猛暑続きで生徒が自学自習するにはかなり厳しい環境となつておりましたので、少しでも多くの生徒が学校で快適に勉強できることを願ひ、環境整備として設置することにいたしました。設置が完了しましたら、また誌面をもつて報告させていただきます。

3月卒業70回生の進路状況を報告致します。国公立大学への進学は66名でした。ここ数年の国公立大学合格者数で見ればやや寂しい結果となつてしまいました。

70回生の特徴は、東京大学や京都大学、東北大学などの旧帝国大学への受験する生徒が多かつたことがあげられます。

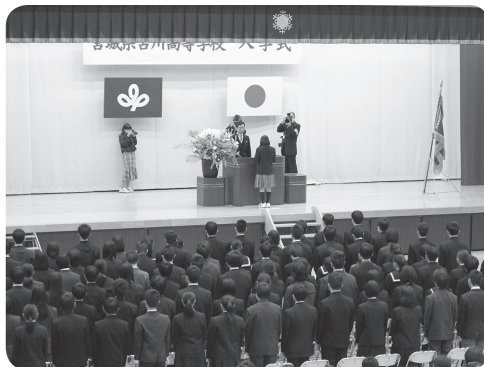
近年は生徒、保護者とも現役志向が強い傾向があり、旧帝大受験を避ける傾向にありましたが、昨年の東大合格を刺激に、受験者数が大幅に増加しました。残念な結果に終わった生徒も多く目指しが、妥協せず、来年も合格目指し再チャレンジしますので大いに期待したいところです。

また、部活動ではソフトボール部が昨秋の県新人大会に優勝し、4年ぶりに3月に高知県で開催された全国選抜大会に出場しました。結果は1回戦敗退でしたが全国の舞台を経験し、4月に行われた宮

城県選抜ソフトボール大会では、見事優勝しチームとして着実に力を付け、総体での活躍が期待されます。

最後に今年度の本部同窓会総会ですが8月12日(日)にグラウンド平成で開催の予定です。記念講演講師は宮城県議会議長の中島源陽氏です。中島議長の普段ではなかなか聞くことのできない貴重なお話が聞けると思いますので、是非足をお運びいただきたいと思

います。今後とも古川高校同窓会にご支援ご協力をよろしくお願い致します。(昭61年卒)



入学式



応援風景

第25回 旧古川市内四校新年の集い

恒例の四校新年会

今年も元気ですく

昭48年卒 伊藤 健二

よくもこんなに集まっていた... 恒例の四校新年会が今年も上野精養軒で、1月27日に開催され、ご来賓も含めると230名余(古高は83名)の参加を得ました。

形どおり、最初に幹事校の在京古高同窓会の鹿野軍勝会長の代表挨拶に始まり、古川高校、古川工業高校、古川黎明高校、古川学園高校の順で、校長(古高は金校長)、全体の同窓会の会長(古高は伊藤会長)に各校の現況をご報告いただき、大崎地方が活力を維持しているのを喜びました。

また、来賓として、大崎市副市長高橋英史氏(昭和47年卒)からは、昨年12月に大崎地域が世界農業遺産として国連食糧農業機関(FAO)に認定されたとの朗報が届けられました。

今回の曲目は「学生時代」、「見上げてごらん夜の星を」、「青葉城恋歌」、「また逢う日まで」...

第二部懇親会は13時から15時まで。幹事団の代表挨拶に始まり、ステージでは歌あり、踊りあり。テーブルは卒業年次ごとの各校の混成。

お待ちかねの25周年記念コンサート、「アンサンブル・コノハ」4人の登場です。メンバーには平成19年卒、松山出身の佐藤直幸さん(テノール)がいます。

その後は、さらに恒例の上野ぶんか亭での二次会へ。伊藤会長、渡邊前会長、金校長、遠藤事務局長にもご参加いただき、30名余。女子高出身画家安住小百合さんも参加。この方は加山又造画伯のご指導を受けたとのことでした。

年齢の方々が準備の段階から、案内の發送、会場の設営までを黙々と支えているのは、感じ入ること大です。ボランティア精神がこの会を支えています。この会報をお読みの方には、ぜひ在京古高同窓会の6月の総会へのご参加をお待ちしています。会社や地域のサークルだけでなく、こういうサークルでの知己をお広げください。



41年組の皆さん



高橋副市長、伊藤会長と



各校の皆さん



鹿野会長と四校の皆さん



アンサンブル・コノハ



テノール佐藤直幸氏と

< 第25回四校合同新年会 古高出席者名簿 >

(四校来賓) (敬称略) 高橋 英文 (大崎市副市長 S47卒 古川出身) 草刈 文幸 (首都圏大崎連絡協議会副会長 S38 古工卒 三本木出身)
(古高来賓) (敬称略) 金 和宏 (学校長一関出身) 渡邊 義之 (同窓会顧問 S34卒 東大崎出身) 伊藤 貞嘉 (同窓会会長 S47卒 米山出身)
菊地 文義 (同窓会副会長 S41卒 古川出身) 遠藤 直樹 (同窓会事務局長 S61卒 田尻出身)

(会員77名) (カッコ内は出身地)

- 昭26 角田 啓輔 (古川) 昭30 高橋 廣 (小野田) 昭36 鹿野 軍勝 (東大崎) 昭39 笹原 誠一 (古川) 昭44 相澤 次雄 (富永) 昭47 松本 秀一 (三本木)
昭27 氏家 明朗 (岩出山) 昭30 平野 武 (長岡) 昭36 鹿野 隆行 (古川) 昭39 洪谷 栄男 (荒谷) 昭44 山田 政法 (中新田) 昭47 伊藤 健二 (中新田)
昭28 佐藤 清勝 (中新田) 昭30 三塚 正志 (高清水) 昭36 児玉 隆行 (古川) 昭39 前沢 義隆 (小牛田) 昭44 佐々木 實 (田尻) 昭47 加藤 敏朗 (古川)
昭29 中森 高 (岩出山) 昭30 横山 武 (松山) 昭36 佐藤 宗博 (古川) 昭39 狩野 民生 (高清水) 昭44 佐藤 実 (高清水) 昭47 菅原 博之 (鹿島台)
昭29 金原 章郎 (古川) 昭30 和田 勝義 (田尻) 昭36 穴戸 俊一 (古川) 昭41 菊地 務 (古川) 昭44 佐藤 博 (色麻) 昭47 原早坂 時男 (古川)
昭29 佐藤 廣 (岩出山) 昭30 渡辺 吉郎 (志田) 昭36 菅泉 徹 (荒雄) 昭41 佐々木 宗實 (古川) 昭44 馬場 博 (真山) 昭47 阿部 眞 (稲葉)
昭29 佐藤 良師 (鳴子) 昭31 相澤 昭男 (三本木) 昭36 高橋 幸裕 (古川) 昭41 佐々木 秀之 (古川) 昭44 藤井 茂庭 進 (三本木) 昭47 松村 一三 (古川)
昭30 相原 相 (色麻) 昭32 野田 利美 (東大崎) 昭36 飯塚 洋 (瀬峰) 昭42 八木 正志 (古川) 昭44 笠間 邦彦 (涌谷) 昭47 亀井 明 (小牛田)
昭30 浅野 和夫 (東小野田) 昭33 大友 正行 (松山) 昭38 飯塚 洋 (瀬峰) 昭42 大友 文博 (田尻) 昭44 清原 雅文 (古川) 昭47 佐々木 洋朗 (小牛田)
昭30 門脇 喜代志 (東大崎) 昭33 高橋 俊裕 (富永) 昭38 佐々木 恭次 (古川) 昭42 佐々木 敬悦 (小牛田) 昭44 鈴木 隆 (古川) 昭47 菅原 祐二 (岩出山)
昭30 門脇 敏明 (東大崎) 昭35 三浦 義明 (古川) 昭39 遊佐 義男 (古川) 昭42 佐藤 勉 (宮崎) 昭44 森谷 隆 (古川) 昭47 渡邊 博之 (東大崎)
昭30 佐藤 輝久 (荒雄) 昭35 佐々木 武磨 (敷玉) 昭39 石堂 達夫 (古川) 昭42 濃谷 誠一 (古川) 昭44 相澤 肯英 (古川) 昭47 平11 菊地 宏幸 (高清水)
昭30 曾根 研一 (西大崎) 昭36 熊谷 伸一 (高清水) 昭39 後藤 雅正 (宮崎) 昭42 森谷 里美 (古川) 昭44 相澤 小嶋 進 (色麻) 昭47 佐藤 直幸 (松山) 出陣

会員による自由投稿

「IT活用農業ハウスの開発」
昭38年卒 浅野 勝吾



定年後38年
間住み慣れた
横浜を離れ、
福島県西郷(に
しこう)村に
移住して12年

が経過しました。私は大学(山形大学工学部機械工学科)を出て、松下電器産業(現パナソニック)に入社、松下通信工業(株)生産技術部で12年間、省力自動機の開発に従事しました。その後約22年間カーエレクトロニクス事業部電装品開発部にてエンジン制御システムに使われる各種センサ(振動センサ、加速度センサ、振動ジャイロ、半導体圧力センサ等)の開発とセンサ製造部門を担当しました。車用センサには高度の信頼性が要求され、お客のトヨタさん、ホンダさんには厳しく鍛えられたことが昨日のように思い出されます。

お陰様で、平成14年に自動車用センサ開発で博士号を取得(山形大学電子工学科富川義朗教授に師事)、特許登録件数も60数件を数えました。定年前の4年間は(社)未来工学研究所に向向し、シンクタンクの仕事を通して広く世の中を眺める経験をすることが出来ました。60才で定年退職後、自然の中の生活に憧れて福島県西郷村に移住しましたが、その間3年間、県立会津大学でコーディネーターとして学生と接する機会を与えられました。

西郷村での生活は、当初は商工会の皆さんと特産品発掘・開発な

どを通じて地域活性化活動に貢献する「西郷村夢プロジェクト」に携わっておりました。

2年前、村のふるさと納税システムを構築した事で、夢プロジェクトの特産品も、ふるさと納税返礼品としてネット販売に置き換える事が出来たので、夢プロジェクト「活動」を卒業し、今回の「IT活用農業ハウス」の開発に着手する事にしました。農業の経験がなく道楽半分始めたハウス開発ですが、コンセプトを下記の通り決めました。

- 一)センサを活用して太陽光・水・風等自然エネルギーを統合制御する事で、「栽培の最適化」と「省力化」「省エネ化」を「低コスト」で実現する。スマート農業システムを開発する
- 二)センサからのデータをモニタリンググラフ化する事で、農業を見える化し、「データ農業」に繋げる
- 三)冬場のハウス栽培が南の九州や東海地域と比べて不利とされる東北で、安定した冬季栽培を可能にする方策を見出す

図1に本開発の統合制御システム、図2に栽培環境モニタリングシステムを示します。

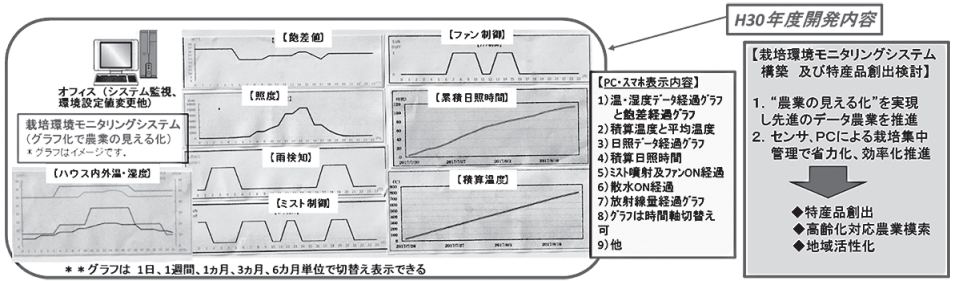
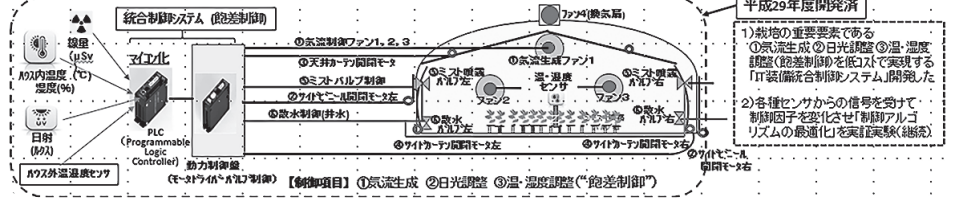
飽差制御とは、光合成を最大化する為に植物の気孔の開きを最大化する様にハウス内温度と湿度を最適に制御する事です。

2018年4月時点での開発状況ですが、図1の統合制御を装備したスマートハウスを2017年に開発し、只今、夏場と冬場の年間を通して実証実験を実施中(ホウレンソウなどの葉物栽培)です。図3、図4に本開発の写真を掲載します。

夏場では問題なく動いていた自動化設備が、昨年の冬場の低温で「氷」の影響等でトラブルが発生

し、東北地域ではやはり、九州、東海地域等と比べて冬場のハウス稼働に問題があることが実感できました。今年中に地下水を活用する事でこの課題をクリアしたいと考えています。

さらに今年度は、図2の栽培環境モニタリングシステムを開発実用化する事で、農業のデータ化を目指します。又、冬の厳しい東北地域で、暖房コストを出来るだけ低減したハウスでの冬季栽培の成否を確かめる為、11月〜翌年4月までの冬季収穫が可能な「イチゴ栽培」にトライする計画を進め



上図1 統合制御システム 下図2 モニタリングシステム

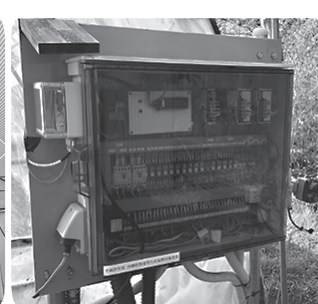


図3 ハウス内部

図4 統合制御盤

- ⑤ 冬季とそれ以外の季節とに対応できる制御、及び季節に応じた朝夕の遮光制御を実施
- ⑥ ハウス全体環境の最適化ではなく、作物周辺を局所的に制御する省エネ制御
- ⑦ 地下水を使った冷暖房システム
- ⑧ 自動運転と手動運転の両方の操作機能を有す
- その他、左記の「こだわり」に徹しております。
- ◆パイプハウス構造採用による「低価格化」↑普及型のIT装備ハウス
- ◆土、水、風、日照、等地元資源を活用する(人工の植物工場ではない)事で地域活性化に繋げ、併せてコストダウンを実現する
- ◆従来の地元の露地栽培を高度化する事で省力化し、高齢社会のアシストツールとする
- ◆休耕田問題と農家の高齢化問題及び未活用の地域資源問題を解決するツールとした
- ◆9月頃まで1年間の実証実験で得られたシステムの課題を整理し一部改良を加えて、今年の冬季に初めてのイチゴの栽培にトライすべく取組んでおります。
- ◆農業はノウハウのカタマリであるとありますが、農業経験がほとんど無いままハウスの開発に取り組んでおります。見学ご希望の方は左記に御連絡頂き、アドバイスなどを頂ければ幸いです。福島県白河市の東北道白河インターから車で約15分程度の山の中に住んでおります。
- 住所：福島県西白河郡西郷村鶴生字太田1-17
- TEL：080-1602001
- 5772
- (固定)TEL：FAX：02481-2515136
- Eメール：sa2025@luck.ocn.ne.jp

趣味としての「温泉巡り」

昭55年卒 亀井 明

もともと温泉は好きなのですが、それを趣味とする人というのは老人ばかりというのがふた昔前の状況だったかと思えます。

1980年代の秘湯ブームを経て、1990年代後半のインターネットの普及により、ホームページ上で温泉巡り記録などを公開する人が多数現れ、「温泉に入る」ことを趣味とする人が実は多数いて、それぞれ独自の視点で温泉を取り上げていることがわかるようになりました。とはいえこの頃は自前でホームページを開設するのはある種の特殊技能だったと思えます。

これが2000年代初頭のブログの登場により、全く普通の人が入ターネット上で簡単に情報発信できるようになり、入ターネット上の温泉に関する情報が爆発的に増えました。それまで「温泉」を趣味とする人には何らかの「前提」なり「バックグラウンド」があり、その延長で「温泉」が趣味になることが多かったと思えます。

具体的には、「(乗り、撮り)鉄」の人、「バイクツーリング」の人、「山」の人、「療養」の人とかいう具合です。ところが、入ターネット上で温泉の情報が豊富になったことで、そういったバックグラウンドなしに、いきなり「温泉」を趣味にする人が増えて来ました。私はこれを「ネットインスパイアード系」の人と勝手にカテゴライズしています。

自分自身でいえば、入ターネットを通じて情報収集するようになったのは2000年頃から。情報発信している人のホームページやブログにコメントを入れてみる

ことから始まりました。また、温泉巡りを趣味としている人のサークルに参加するようになり、実際に「オフ会」と称されるイベントに参加して得られる情報は大変刺激的なものがあり、どんどん行きたい温泉が増えていきました。

彼らの多くは「湯めぐり」というのも普通の湯めぐりではなく、一日に多いと10カ所以上の「はしご湯」をするのです。これに刺激さうになり、「はしご湯」をするようになりました。こうして、2005年から2016年まで12年間連続で、年間200ヶ所以上の施設に入湯し、毎年150カ所の新規施設への入湯を継続しました。この結果、2000ヶ所以上の施設に入湯を果たし、現在ではネット上の温泉サークルとしては最も古く大きな「日本秘湯に入る会」(会員数2000名以上)のお世話係をするようになってしまいました。

◆「いい温泉」の定義

お風呂が大きく、部屋が清潔で、食事がおいしく、サービスがいいことが条件だったりしますが、自分の身の回りの温泉巡りを趣味とする人たちの基準は必ずしも、そればかりではありません。

「温泉の成分」に拘る人、「温泉の新鮮さ」に拘る人、「浴槽や湯小屋、浴室の外観上の古さ(渋さ)」に拘る人、「施設ではない野原、河原に湧いている」ことに拘る人、「一般的な施設ではなく、個人宅の温泉」に拘る人、「人里離れているロケーション・景色」に拘る人、「とにかくたくさん入湯すること」に拘る人、「宿のコストパフォーマンス」に拘る人等々、いろいろ拘りと楽しみ方があります。

私自身は、いろいろな友人たちとの接触を通して、その刺激により、許容範囲が広がり、どのパターンでも楽しめるようになりました。

◆「鳴子」の再発見
地元にいると、鳴子温泉はあまりにあたりまえの温泉で、有難味をあまり感じないのですが、日本全体で見ると、珠玉の温泉地なのです。何ととっても、狭い地域で様々な泉質が楽しめる、かつ一つの温泉に強い個性があるのが特色です。

全国の温泉を巡っている多くの友人たち(マニアともいう)が口を揃えて、「鳴子はすごい」と評価しています。「別府温泉」の重鎮ですら、「鳴子の多様性には仰天した」というくらいです。

個人的には、独特な泉質と臭いの「東鳴子温泉」。この「高友旅館」の「黒湯」は全国のアブラ臭温泉ファンへの聖地といってもいいかもしれません。焦げゴム・硫黄臭にクレゾール臭が混じった全日本でここしかない「異臭」がする温泉です。

「川渡温泉」は独特の緑色の柔らかな高温の硫黄泉です。「藤島旅館」「共同浴場」がいいですね。川渡と東鳴子の中間にある「馬場温泉」の庭の湯小屋は褐色で泡付があるのに高温という珍しい温泉です。(一般的に温泉マニアは「泡が付く」温泉がお気に入りです)。

鳴子の「滝の湯」は白濁の酸性泉ですが、となりの「ゆさや」は緑色のアルカリ泉です(今は若干泉質に変化があったかも)。「鳴子ホテル」は大規模な宿泊施設の温泉としては温泉のクオリティとしては全国トップクラスでしょう。

独特な硫黄泉の「西多賀旅館」もマニア受けします。直近では「農民の家」が破綻・閉鎖したのは非常にショックでした。中山平はア

ル」の浴感が特色で、「丸進別館」がその最右翼でしたが、なくなってしまったのが非常に残念です。これには及びませんが「琢秀」か「しんとうの湯」でも「ニルニル」は感じられます。

鬼首に目を転じると、夏はそのまま入浴できるワイルドな滝壺露天で有名な「峯雲閣」でしょうか。最近では川むこうの「赤道」の「阿部旅館」がマニアに受けているようです。これ以外にも、地元民専用の共同浴場が複数ありますが、一般人は入れないのが残念です。

このように「泉質」という観点では非常に面白い鳴子温泉ですが、「温泉街全体としての魅力」という点では、見るべきものがないのは残念です。

温泉そのものの魅力は鳴子には全く及ばないにもかかわらず、集客に成功している温泉地が全国にはたくさんあるのですが、お湯はいいのにほとんどん廃れていく鳴子を見ていると、「なんとかならないものか」という思いが強くなるばかりです。

(次回に続く)



今はなき鳴子某湯

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー



Business Integration Partners

BIP株式会社

昭和42年卒

代表取締役 佐々木 昭美

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F
TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418
東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F
TEL: 022-208-9322

E-mail: info@bi-p.co.jp URL: http://www.bi-p.co.jp



エコオイルからレーシングオイル開発に携わり、国内、海外展開をしている。

FORTEC モータースポーツオイル発売元

耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ等のサポートドライバーが大活躍しております。

代表取締役 渋谷 誠一(昭和42年卒)

フォルテック株式会社

〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台4-5-23
TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687



http://www.fortec-oil.com/

平成29年度 年会費・賛助金納入状況一覧 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

同窓会活動の財源としての年会費並びに賛助金を、皆さまにご協力いただきありがとうございます。納入された方々のご芳名を記して、お礼に替えさせていただきます。

	氏	名
昭17	笹原 猛	
昭18	野村喜太郎	
昭19	青沼 康男	
昭20	後藤 雅久 高橋 昭典 日野 次朗	
昭22	大場 孝夫 諸岡 久男	
昭23	半田 慶男	
昭24	我孫子静夫 門脇 健 小林 昭 齋藤 馨 三浦 澄能	
昭26	柏倉 亮夫 鈴木 桂吾 鈴木 俊男 角田 啓輔 谷地 森 税	
昭27	跡部 太一 氏家 明朗 大内 史彦 太田 徹 佐澤 正剛 佐藤 清勝 菅井 一 菅原 峯雄 瀬川 博義	
	中森 高	
昭28	小元 広悦 中川 裕雄 早坂 明久	
昭29	近江 誠一 大沼 悟 小川 春男 小野 賢次 金原 章郎 金村 繁 佐藤 興市 佐藤 茂 佐藤 廣	
	関 信良 関口 克己 高橋 清亮 高橋 滄 長浦 稠 早坂 清吉 峯村 芳彦 八尋 恭平 湯本 良師	
昭30	相原 相 浅野 和夫 尾崎 光彦 門脇喜代志 門脇 敏明 岸 孝仙 京極 恒由 小松 伍郎 佐々木英三	
	佐々木 豊 佐藤 輝久 鈴木 貞清 諏訪 政志 瀬戸 順悦 曾根 研一 高橋 廣 塚田 容三 手島 篤郎	
	平野 武 三塚 正志 山中 廣志 横山 武 和田 勝義 渡辺 吉郎	
昭31	阿部 進 相澤 昭男 浅野 平男 浅野 森男 安住 榮喜男 生亀 功 石川 勝夫 奥村 信良 木村 智明	
	福原 克彦 松谷 嘉男 森 茂樹 森谷 文彦	
昭32	相澤 菊男 遠藤 康光 大森 英樹 北村 武行 木戸 秀彦 佐々木勝也 佐々木吉弥 下屋 勝 竹谷 靖夫	
	野田 利美 沼倉 和雄 原 清三 門間 俊二	
昭33	大友 正行 大山 隆志 小堺 勉 斎藤龍次郎 佐々木光一路 佐藤 厚 鈴木 節夫 鈴木 将夫 高橋 俊裕	
	成田 良元 野村 高義 早坂 英郎 三浦 義明 森谷 拓夫 結城 睦夫 渡邊 紘也	
昭34	青沼 行雄 出雲 義朗 後藤 孝 宮野 貞司 村上 金吾	
昭35	阿部 信雄 伊藤 勝利 梅沢 和男 大沼 直紀 黒岩 弘一 今野 正弘 佐々木恭二 佐々木武磨 佐々木庸二	
	鈴木 啓次 鈴木 檀昭 我妻 一美	
昭36	伊藤 清功 江崎 肇 大益 弘 大曾根秀憲 片倉 康 鹿野 軍勝 児玉 隆行 佐々木錬三 佐藤 宗博	
	齊藤 武夫 穴戸 俊一 菅泉 徹 鈴木 幹 高橋 幸裕 藤本 義明 枡澤 敬 松崎 仁也 吉田 二郎	
	我妻幾久寿	
昭37	阿部 孝 佐藤 八一郎 穴戸 照男 渋谷 孝 杉野 邦熙 千坂 孝夫 中鉢 泰平	
昭38	阿部 重人 飯塚 洋 大曾根 昇 門脇 幹紘 菅野 英俊 木村 康之 佐々木恭次 佐藤 勝昭 菅原 清春	
	遊佐 義男	
昭39	石堂 達夫 上野 正司 菊地 義信 後藤 雍正 笹原 誠一 渋谷 栄男 菅原 静 千葉 則道 細野 利行	
	前沢 義隆	
昭40	浅野 仁也 庄司 昭也 手島 秀明	
昭41	相澤 健二 石川 厚 金澤 茂 狩野 民生 菊地 務 今野 忠雄 佐々木宗實 高橋 秀之 八木 正志	
	渡邊 幸之	
昭42	伊藤 倉雄 大友 文博 木村 智則 酒井 信一 佐々木明夫 佐々木昭美 佐々木文安 佐藤 勉 佐藤 文清	
	澁谷 誠一 三浦 和夫 森谷 里美 門田 芳司	
昭43	遠藤 卓三 佐々木 博 門間 勝	
昭44	相澤 次雄 岡村 明 岡本 悦男 鈴木 信正 角田 耕一 山中 政法	
昭45	荒川 忠一 飯田 功 猪股 謙二 岩瀬 昭典 内田 和博 小畑 伸一 鬼沢 慎一 角張 信隆 佐々木裕祥	
	佐々木 質 佐藤 実 只野 祐 馬場 博 藤井 茂樹 茂庭 進	
昭46	今川 和彦 遠藤 孝 笠間 邦彦 加藤 伸 鈴木 規仁 鈴木 博 高堀 昭己 森谷 隆	
昭47	相澤 司 小嶋 進 菊池 精治 佐々木 保 高橋 光 松木 秀一	
昭48	伊藤 健二 伊藤 靖洋 石川 克城 小川 邦博 貝 修二 加藤 敏朗	
昭49	早坂 正	
昭50	早坂 明彦 柳川 公明	
昭51	菅原 博之 早坂 時男 道家 篤夫	
昭52	阿部 眞 高橋 忠悦	
昭53	浅野 正則 遠藤 淳 鹿郷 満保	
昭54	松村 一三	
昭55	亀井 明 齋藤 秀範 佐々木 洋朗	
昭56	佐々木 治道 佐藤 京治 菅原 祐二	
昭61	渡邊 博之	
昭63	栗村 光	
平01	小嶋 浩二	
平11	菊地 宏幸	
平19	佐藤 直幸	

『年会費・賛助金
ご協力のお願い』

年会費および賛助金のご協力ありがとうございます。平成29年度年会費納入者は記載のとおり269名で、そのうち賛助金協力者は149名でした。ご支援大変感謝いたします。年会費は、物故者および転居先不明の方々が多く減少傾向にあり、賛助金の占める割合が増えてきております。引き続き同窓会活動の為に是非賛助金も併せてご支援くださいますようお願いいたします。

在京同窓会事務局

会員通信

●米寿に達し、妻の介助もあり、外出
俟ならずで、皆さんに失礼してしま
す。いつも「明るく、元気に、楽しく」
を心がけています。(S24三浦澄能)
●年々重なる度に足腰弱くなり、あと
3年ぐらい頑張つて、東京五輪まで生
きたい所存です。(S26柏倉亮夫)

●4月に左脛骨を骨折し、3ヶ月入院
4ヶ月リハビリでやっと平常な歩きが
出来る状態になりました。今回は自重
し欠席させて頂きます。

●米国より一時帰省中。約40年ぶりに
日本で正月を迎える予定です。

●眼、糖尿病、心臓カテーテルと治療を
要するものばかりで、毎月数回の病院
通いの日常です。もう高崎からの出席
は無理だと思えます。

●3年程病気がちでしたが、ようやく
健康をとりもどし、自分で好きな事を
やっております。(S30佐藤寿哉)

●幸い、健康に恵まれ、合唱団に入れ
て貰っている。常に「そう思つて歌つ
ているか」と問われ、感性の大切さを
悟つた。少しでも高めたいと、昔貰つ
たままになつてゐた書物にぶつかり、
読むことに決めた。(S30高橋 廣)

●80歳記念の本を書きました。「高齢者
にも楽しめる東京近郊の尾根歩き」(創
英社/三省堂書店、2017-12)

●80歳を過ぎると駅の階段を昇るのも
息切れがする今日、今の中に足腰を鍛
えておかないと思つて、趣味と実益を
兼ねて、一昨年からの戦国時代の城と城
址、古戦場巡りをしています。

●近年は軽い認知症の義姉が四国松山
に居住しており、年間の半分は四国で
あり、今回も松山に居りますので残念
ですが失礼致します。(S33早坂眞雄)

●外出支援ボランティア・サポートは5

年経ち、利用件数は年千件となりまし
た。スポーツ団体・バンクラフ、チャ
レンジ・ヨガ、日本ブラインドテニス
のサポート会員と横のひろがりが出て来
ました。(S33早坂英郎)

●昨秋から膀胱ガン患い入院を繰り返
し、その間2度の開腹手術。運良く
ガン切除に成功。現在通院加療してお
ります。(S35梅澤和男)

●相変わらず、NPO活動、ウォーキング、
スポーツセンター通い、四者会談(麻捲)、
ゴルフ等を楽しんでいます。

●年一回、七名の古高同期生と仙台周
辺で懇親を深めております。この会も
いつまで続くのやら?自分の腰痛との
闘いです。(S35佐々木恭二)

●寒い日本を脱出し台湾放浪中です。
筋トレしつつ何か国か目ざします。

●75才に成り後期高齢者の仲間になり
ました。大腸ガンの手術もしました。
皆様の元気な様子を思いながら頑張り
たいと考えています。(近いうち)い
つか参加したいですね。

●ラジオ体操で一日が始まる。息ぬき
をしながらのんびりと過ごしていま
す。後期高齢者の仲間入り、他人に迷
惑をかけない様に? (S36佐藤崇博)

●近況を一句「老いるほど口と手足が
逆比例。母校創立120周年。紆余
曲折・労苦を垣間見ます。大震災後と
復興への道も経験。恐怖・驚嘆の月日
は未だ続く。母校は文武両道のT・T
(技術・伝承)を通じ友好発展の絆を
盛上げており、大変誇り高い。会社生
活を離れ、古希も過ぎ心技体?も高齢
化。老後対策?ハイカイ(俳諧、徘徊)
練習中の身柄。NHKラジオ深夜便で
の昼夜逆転生活。合間にPC授業(O
CW)、学べるニュース等で無知無限。
海馬補充を積み重ねケンミンショウタ
イムを邁進中。(S36菅泉 徹)

●高校時代、一緒に野球部で活動して
いた親友・田口正志君が永眠、残念至
極の心境です。(S37六戸照男)

●平成30年中には岩出山に終いの棲家

を求め、わずかでも地域医療に貢献し
たいと思つている。(S38阿部重人)
●仕事・マラソン・お酒を三本柱として
頑張つています。皆さんとお会いでき
ることを楽しみにしています。

●今年、5/6月に10泊12日で南
フランスからパリへと向かいながらス
ケッチ旅行をし、充実した1年でした。
(S39笹原誠一)

●(公社)農林水産・食品産業技術振
興協会(JATFAFF)にて元気に働
いています。卓球とバドミントンもほ
ぼ毎日にやっています。晩酌もほぼ毎
日です。(S41高橋秀之)

●年金生活です。学院大Greenclub
東京OB合唱団(含む古高OB4名)
で慰問活動をしております。

●車のレーシングオイルメーカーとして
国内ではモータースポーツ界での全日
本ラリー・ダートラ・スーパードTでの
チャンピオン獲得、海外での東南アジ
アとの取引が増えております。

●1月27、28日と、大崎観光公社主催
の「2万羽のガンを観る会」参加のた
め、こちら(四校新年会)には出られ
ません。(S42三浦和夫)

●今は趣味の絵を描いて過しています。
昨年は念願の個展を開きました。

●「チバニアン」で地元が賑わつてい
ます。是非尋ねてみて下さい。案内し
ますよ。(S44岡村 明)

●2014年5月に一過性脳虚血発作
を。お酒も週一日の休肝日を設けてい
ます!(S44角田耕一)

●現在、町内会長として地区に貢献し
ております。(S45武藤信彦)

●65歳の定年まであと3年です。定年
後はイベントにもいろいろ参加させて
いただきます。

●(S50静岡県赤十字血液センター 柳川公明)
●平成29年4月より山梨県民となりま
した。元気にやっております。
(S55山梨大学教育学部 鈴木健之)

情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート

専任スタッフ・有資格

CALS/ECインストラクター	10名
電子化ファイリング	2名
文書情報管理士	1級 1名
	2級 3名

電子納品作成支援
おまかせください!

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

代表取締役会長 **早坂清吉** (昭和29年卒)

株式会社 **ケーヨー** <http://www.keyo.co.jp> E-mail:info@keyo.co.jp
本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6
☎ 03-3242-0191 FAX 03-3242-0167

心よりご冥福をお祈りいたします

岡本 典憲氏 (昭28年卒) 平成29年8月8日

峯村 芳彦氏 (昭29年卒) 平成29年10月7日

浅野 清氏 (昭31年卒) 平成29年3月24日

田口 正志氏 (昭37年卒) 平成29年5月31日

編集後記

本同窓会の近況報告には連休前、4月末の対案高戦の結果を織り込んでいますが、原稿期限もあり本部事務局長にいつもご迷惑をかけており申し訳ない。(大友)

複雑な税務問題の相談に応じます

税理士鈴木博事務所

税理士 **鈴木博** (昭和46年卒)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階 (虎ノ門合同事務所)

TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493
E-mail: hiro0917@toranomom-ssta.com

TECHNOLOGY of MAGNETIC PRODUCTS

EMC対策部品

- ノーマルモードラインフィルター
- コモンモードラインフィルター

チョークコイル

- スイッチング電源用プーストチョークコイル
- インバータ家電PFC用プーストチョークコイル

TMP株式会社
代表取締役 佐藤勉 (昭和42年卒)

神奈川県大和市大和南2-1-16 大和ホワイトビル 7F
TEL 046-260-6788 FAX 046-260-1624